

英語

「文法」「読解」「英語表現」をベースに、大学入試に必要とされる総合的な英語力を養います。

- ①文法力（英語の読み書きに不可欠な基盤となる力）
- ②読解力（英文全体の要点や構成を把握する力、推論する力）
- ③英語表現力（事実の説明や、論理的な意見の組み立てを可能にする表現力）

英語は「聞く」「話す」「読む」「書く」といった言語活動を行う教科です。大学入試では、これらを統合的に活用する力が問われます。講義では、基礎的な知識のまとめ、その応用の仕方（得点へのつなげ方）、答案作成のポイントなど、英語力を養成するためのさまざまな情報が提供されます。しかし、講義を聞いてそこで得た情報を覚えるだけでは、合格を確実なものにすることはできません。「予習をし、自分の知識を整理する」、「自分が答案を作成した過程と講義での説明とを比較する」、「繰り返し復習する」など、能動的に講義に臨むことが必要です。予習を助ける「例題」、講義で扱われる「演習問題」、演習問題の英文の訳、長文読解の英文の再録（Review）を盛り込んだ「復習プリント」、英文音声（一部講座を除く）を有効に活用することで合格できる英語力が身につきます。

数学

数学の学習では、問題集や参考書で多くの問題をこなす経験値を上げることも勉強法の一つです。しかし、受験までの限られた時間の中で、可能な限り自分の学力を上げなければならない皆さんに無駄な時間はありません。効率よく学びそれを確実に結果へと結び付けましょう。

- 入試問題演習を通して、公式や解法がもつ意味をしっかりと理解し、活用できることを重視しています。
- 授業を受けて“わかった”で終わるのではなく、“本質を理解し、応用する”ことにこだわっています。
- 目標とする大学やレベルに応じて、テーマ別演習、解法の手法別演習、実戦的な総合演習を組み合わせ、入試で要求される実戦力を高めていきます。
- 学習すべき1題1題の問題にこだわっています。入試で問われるテーマが効果的に学べるように、目的やレベルにあわせて問題を精選し、しっかり理解できるように、受験指導のプロの講師が、数値や問題文の表現にも注意して丁寧につくり上げていきます。

河合塾には受験を知り尽くした講師のわかりやすい「最高の授業」、学力を確実に上げる練りに練られた「最高のテキスト」、授業後の質問にも対応する「環境」があります。

河合塾が提供する“わかる楽しさ”が皆さんの可能性を引き出します。

国語

入試で必要とされている国語力の中心は「論理的思考力」です。具体的には「文章を論理的に考えながら読解する力」、その論理的な文章読解を前提とした、「設問の要求にかなった論理的な解答を選択、あるいは書く力」です。ただなんとなく文章を読み解くのではなく、「論理」に基づいた「思考」をしなければ、国語力は身につかないのです。その力を身につけるためには「論理的思考」の方法論を学び、自分で使えるようになるまでトレーニングすることが必要です。あわせて「論理的思考力」にはバックグラウンドの「知識」も重要なポイントです。「知識」は良質な問題に多く触れることで強化されます。また、「論理的思考力」は他教科の読解力や答案作成力にも生きてきます。

河合塾の国語は、この「論理的思考力」を養成するカリキュラムです。Ⅰ期は講義を中心に大学入試で必要とされる国語の基礎学力を養成します。入試頻出の文章から良質なものを厳選し、文章の読解力、現代文の用語や慣用句、古典文法、古語、漢文の単語・句形、古文・漢文の背景知識などを習得していきます。Ⅱ期は多くの講座でテストゼミ（当日テストを解き、その後解説授業を行います）を実施し、入試本番に向けた実戦力を養成します。入試で必要とされる答案を作成する力、本番で高得点を獲得する力を習得していきます。

理科

近年の大学入試問題や出題傾向を徹底的に分析し、入試に必要な力を“1年間で”身につけられるよう構成した「大学入試直結カリキュラム」です。

大学入試は、定期テストのように範囲が区切られていないため、断片的な知識の暗記だけでは太刀打ちできません。各科目とも、現象の根底にある知識の理解と論理的な思考力・応用力の形成が必要です。河合塾では、現役生が入試に向けて「今、やるべき項目」を絞り込んで効率よく学習し、思考力や応用力が身につく良問の演習を重ねることで、入試に必要な理科の力を確実に身につけることができます。

河合塾で、第一志望現役合格をめざしましょう！

地歴・公民

地歴・公民は学習範囲が広く、多岐に渡るため、漫然と学習するだけでは、入試での得点につながりにくい教科です。河合塾では、過去の入試問題の徹底研究に基づいて編成したテキストを用いて、現役生の皆さんが効率的に力を身につけられるよう、ポイントを明確にして指導します。

授業では、バラバラの知識を体系的に結びつけ、整理ができるように指導します。断片的だった知識が体系的に結びついてくると、どんどんおもしろくなっていくはず。さらに、さまざまな入試難易・出題形式に対応した問題演習を行うことで、入試本番で確実に得点できる実戦力が身につきます。

なお、論述・記述問題を扱う講座では、「蓄えた知識」を「テーマに沿って論理的に文章にする力」を養成します。答えは丁寧に添削して返却されるので、得点に結びつく答案作成力が身につきます。

小論文

I 期は、「書くこと」のために必要不可欠なテーマを取り上げ、読解力と表現力の基盤を構築します。

II 期は、この基盤を基に系統別に質・量ともハードな問題を取り上げ、実戦的演習を行い、よりいっそう豊かな論述をめざします。

● 医進講座

原則として毎講答案作成を行い、前回作成した添削済み答案を手にしながら解説講義を受けます。

● 系統別講座

奇数（第 1・3・5・7・9・11）講では講義を基に実際に答案を作成します。偶数（第 2・4・6・8・10・12）講では前回作成した添削済み答案を手にしながら解説講義を受けます。